



さとやま 2024年 夏号 (通巻167号)

■発行 特定非営利活動法人うしく里山の会  
〒300-1212 茨城県牛久市結束町489-1  
tel 029-873-8552 fax 029-873-8552

■事務局 牛久自然観察の森内  
tel 029-874-6600  
<http://ushiku-satoyama.org>  
■編集 木谷昌史

# さとやま

～夏号～  
No.167

特定非営利活動法人うしく里山の会 広報誌

1. 表紙 (シラカシとカブトムシ)
- 2-3 代表理事挨拶
4. お知らせ
- 5-7 プロジェクト活動報告
8. 裏表紙 (孟宗竹の伐採作業の様子)

## 法人格取得 20 周年を迎えるにあたって

代表理事 齊藤孝

日頃より本会の活動にご参加及びご協力いただき、厚くお礼申し上げます。本会は令和 6 年 9 月 29 日（日）をもちまして法人格取得 20 周年を迎えます。

これもひとえに会員の皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝しております。法人格取得に奔走された設立メンバーの皆様、県庁へと足を運び最終的な手続きを行って下さった坂様、増田様、そして、発足した法人にて数多くのプロジェクトに尽力された歴代の会員の皆様、観察の森職員の皆様、地域及び行政関係者の皆様にあらためて深く感謝申し上げます。

本会の前身は、牛久自然観察の森の効果的な運営を目指すため平成 13 年（2001 年）4 月に設立されたボランティア有志による「牛久自然観察の森友の会準備会（平成 14 年 4 月～友の会設立協議会）」でした。その後、牛久自然観察の森を活動の拠点として、牛久市内の美しい里山を保全し未来に引き継ぐ活動を目指す市民団体を作ろうと、平成 14 年 11 月「うしく里山の会設立準備会」が立ち上がり、平成 15 年 4 月に市民団体「うしく里山の会」が設立されました。市民団体として最初の通常総会（平成 16 年 4 月 18 日）では、法人格取得を会として正式に表明する「NPO 法人設立宣言書」が議案に盛り込まれ、5 か月間の準備期間を経た 9 月に NPO 法人格の取得に至りました。



雑木林のヤマオヤジ

法人格取得の翌日に実施された牛久市長との面談では、NPO 法人格取得の報告の流れからその場で市内観光アヤマ園の管理作業に関する提案をいただき、その 2 日後に行われた運営会議では「環境保全」「観光」「公共性」「教育」「自主性」といったテーマの中で、「法人としてどのような手段でミッションを果たしていくか」について熱い議論がなされた事を今でも鮮明に記憶しています。それから間もなくして今度は牛久自然観察の森のソフト事業（普及啓発事業）委託の打診もあり、翌平成 17 年 2 月 26 日に開催された臨時総会ではアヤマ園再生事業と併せて事業の委託が承認されました。法人格を取得したことで社会的な認知が高まり行政からも信用が寄せられること、責任ある法人としての強い自覚を求められることの両方を早々に学ぶ結果となりました。

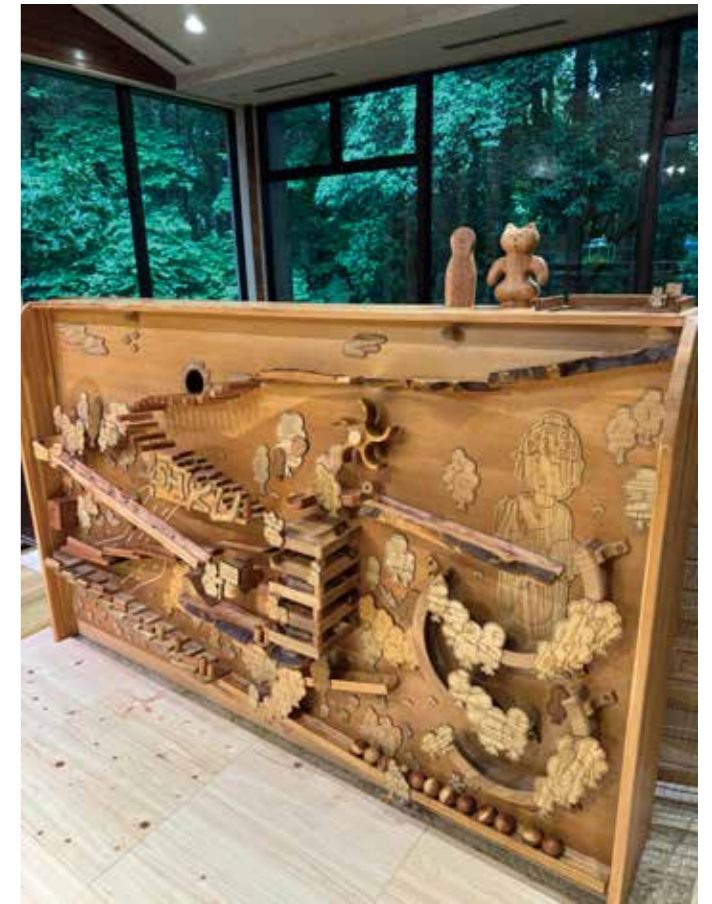
法人として受託事業を開始した平成 17 年度には 106 名の会員が多種多様な事業に参加し、会のミッションを果たすべく新たなスタートを切りました。里山等の環境保全事業として「雑木林応援隊」、自然環境教育事業として「子ども星見隊」「わんぱくビートルズ」「さとやまがっきゅう」「じゃがいもプロジェクト」、里山保全・地域環境づくりに関する調査研究事業として「ホタルプロジェクト」「昆虫探偵団ファーブル」。情報提供事業として「里山百選」「CD 図鑑発行」、住民主体の環境改善・保全活動の支援として「森林総合研究所森の展示ルーム説明員」、環境保全・地域づくりプランの作成として「里山歩き」、そして「里山セミナー」と、会員にとってはどれも思い出深く印象深い事業ばかりでした。法人全体として何か一つのプロジェクトに集中するのではなく、会員各位が自発的に立案したプロジェクトそれぞれを並行して実施していく、時に横断的に協力しながらミッションを遂行していくという考え方もこの頃にまとまった事業指針でありました。

翌平成 18 年度からは「牛久自然観察の森指定管理者受託事業」が開始され、市管理時代に園長を務められていた石神様に本会として初代の園長にご就任いただきました。

## 牛久自然観察の森だより③

③牛久にちなんだ大型木製玩具が設置されました

去る 6 月 17 日（月）、休館日を利用して新たに大型木製玩具を設置しました。場所はネイチャーセンター1階へ下りる階段の手前です。幅 180 cm、高さ 120 cm、奥行き 30 cm の大型作品です。玩具としての分類はクーゲルバーン（玉転がし）になりますが、今回は牛久の名所をモチーフに入れたの製作となりました。まずは我が「牛久自然観察の森」、そして「牛久大仏」です。製作は現在の木育広場の機関車型什器やお店型什器でお世話になっている木村木品製作所（青森県弘前市）です。構想 6 か月、製作期間 3 か月で合計 9 か月かけての納品となりましたが実にポップでおしゃれなクーゲルバーンとなりました。牛久大仏の遠景や観察の森の動物たちがコミカルに描かれている中を木球がリズム良く転がっていきます。ネイチャーセンター内の木育広場では牛久にちなんだ玩具を多数製作してきましたが、今後も市内の歴史的建物や民話・昔話にちなんだ作品を増やしていく予定です。どうぞご期待ください。



設置後の大型木製玩具

## 野山の生きもの達

牛久自然観察の森や結束町保全区でみられました。



ノギリクワガタ



アオダイショウ



ゴマダラチョウ



サトクダマキモドキ



ニイニイゼミ



サトキマダラヒカゲ

## 牛久自然観察の森だより①②

### ①バッタ原の園路（自然散策路）補修工事完了！

去る6月3日（月）～6月5日（水）の3日間、大規模な園路修繕工事を実施しました。

正門からネイチャーセンター前に至る園路は、バッタの産卵場所としての環境目標が設定されている未舗装の砂地で、定期的な整地メンテナンスが必要な場所です。前回の整備からちょうど10年が経過し、近年のゲリラ豪雨の影響もあり浸食がすすんできていました。そこで、バッタの産卵時期を考慮したこの時期に休園日を設け、200m近い園路のでこぼした砂地表面を一度剥がして、あらためて砂地を敷き直し転圧する作業を実施しました。砂色は工事以前と変わらない色味で違和感も少なく、園路幅が広がったような印象の工事後となりました。7月に入り早速バッタの産卵も見られ、順調な再スタートを切りました。



補修後の園路の様子

### ②観察舎の縁側・襖をリニューアルしました！

春からファミリー層の利用者が増えた観察舎ですが、ふすまが古くなって色あせていたり、縁側の色落ちが目立つようになってきました。これからやってくる夏休みシーズンは更に多くの方が訪れ目にする場所ですのでリニューアル工事を行う事となりました。縁側の削り直しと塗装、脆くなっている材の交換、襖の張り替え、玄関引き戸板の交換をあわせて、6月18日（火）～6月21日（金）の4日間の工事で大変身、開園から35年目で最も大規模な修繕工事となりましたが、おかげさまで、より明るく温かみのある空間となりました。



塗装後の縁側

石神様には「美しい牛久周辺の里山を未来に伝えていく見本となるような」二次林及び生態系の管理・指導を長きに渡り実践していただき、本会の拠点整備にもご尽力いただきました。また、当時から現在に至るまで続く全体事業「里山保全ボランティア（旧みどりの保全区エコアップ）プロジェクト」の現場での陣頭指揮にもご奮闘いただきました。

これ以降、「自主事業」「特別事業」「全体事業」「受託事業」として数多くの事業（プロジェクト）が実施され、里山体験行事や環境調査、ハンドブックの発行等その幅広い活動は市内外で高く評価されると共に、それぞれに目標としたミッションを完了したり、バージョンアップを繰り返しながら、ついに法人格取得20周年の時を迎えることとなりました。来る9月29日（日）の20周年を機に、牛久自然観察の森を拠点とした環境保全・啓発活動を更に充実させていくと共に、法人としてこれまで培ってきた経験、会員の皆様、会員であった皆さまと共にミッションに向かい合ってきた時間、思い出を大切に、これからの活動に取り組む所存です。どうぞ皆様、今後とも、本会の活動にご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



コジュケイの林

### 法人設立20周年記念行事（森林保全ボランティア作業）のお知らせ

～法人の設立記念日に森で汗を流しましょう / 道具不要の枝拾いです～

開催日：令和6年9月29日（日）少雨決行・荒天中止

時間：午前の部）午前10時30分～11時30分…第一駐車場横みどりの保全区枝拾い作業

午後の部）午後1時30分～2時30分…タヌキの林・コジュケイの林枝拾い作業

申込：事前申し込み不要です。当日開始時刻に観察の森第一駐車場にお集まりください

服装：軍手・長袖・長ズボン、汚れても良い服装でご参加ください

参加：無料（レクリエーション保険、会員はボランティア活動保険も対象となります）

午前・午後とも開始時刻30分前より受付を行います（途中参加・退場可能です）

午前の部・午後の部とも観察の森来園者の方への活動紹介を合わせて実施します

（スズメバチの巣の動向で活動場所が変更となる場合があります。ご了承ください）

## 事務局からのお知らせ

### 第20回通常総会のご報告

令和6年5月20日(月)第20回通常総会を牛久自然観察の森ネイチャーセンターで開催いたしました。議案書に記載してありました全ての審議事項は、全て承認されましたのでご報告いたします。

### 結束町みどりの保全区 「エコアップ」作戦参加者募集のお知らせ

牛久自然観察の森に隣接する牛久市結束町の「みどりの保全区」で行っている森林維持管理作業「エコアップ作戦」では、地域の皆さんの協力のもと、下草刈りや除間伐、風倒木の処理等を行っています。

この春から実施している孟宗竹の伐採作業は、これまで藪に覆われていた場所が下草刈りによって竹が頭になってきました。伐採も少しづつ進めていてこれまでで40本ほど伐採できたのではないのでしょうか、秋からはその作業が一段と進みそうです。竹は地面から1mほどのところで切ると弱りそして3年もすると枯れてしまうそうなので、今回の作業では高さ1mのところまで落とすようにしています。どれぐらい効果があるのか期待しているところです。

9月～11月は下記の通り2回の実施を予定しております。雑木林の景観維持へのご協力を引き続き宜しくお願いいたします。

活動日：10月24日(木)、11月28日(木)

時間：9時30分～12時

集合場所：ネイチャーセンター 横の倉庫前

参加希望の方は：活動日の1週間前までに事務局までご連絡ください。

### 活動の様子



下草刈りを行い竹の伐採作業を行いやすくする



竹の伐採作業の様子  
(作業場所を確保しながら伐採作業を進める)

## プロジェクト活動報告

### 雑木林応援隊

### 「炭焼き活動報告」

令和6年度第1回活動日。10名参加し竹林の整備活動を実施。「ムジナの里」に移動し、それぞれスコップを持ちタケノコを探す。昨年に比べて顔を出すのが遅いが、僅かな突起を見つけて掘り出す。1時間程で20～30本程度収穫したのだろうか。活動ベースに戻り、早速、数本の皮を剥き茹でる。伐採木を積んであるところに「アラゲキクラゲ」がびっしり生えた木を発見し、収穫。焚き火の側で「ヒメツチハンミョウ」という危険な虫を発見。触れると痛みや皮膚炎を起こす分泌物を出すので要注意。「コジュケイの林」から伐採木を搬送。焚き火で作った野菜汁を頂きながら雑談タイム。タケノコ、茹でタケノコ、キクラゲをお土産に解散。



火を囲んでの雑談タイム

◇4月21日 曇り

12名参加し「ムジナの里」に移動し竹林整備。前回、タケノコはほとんど顔を出していなかったが、今回はニョキニョキ大量に生えており、大きなものは1.5m程に伸びている。手頃な大きさの物を選んで掘り、大量に収穫。活動ベースに搬送後、野菜汁を頂きながら昼の休憩。タケノコを分けて解散。

◇5月5日 晴

11名で梅林の下草刈りを実施。自走式草刈り機(ハンマーナイフモア)3台と草刈り機4台を使用し、来園者が散策する園路を中心に手分けして刈っていく。2時間ほどで見違えるように綺麗になり、来園者も安心して散策できるようになった。



筍掘りの一コマ

◇5月19日 曇り

「ムジナの里」に移動し、下草刈りを実施。伸び放題となっている雑草を機械で刈払い、倒れている竹や伸びすぎた筍を一箇所に集め作業終了。

◇6月2日 曇り

天気予報で雨が降りそうとのことで活動中止

◇6月16日 晴れ

今回も「ムジナの里」に移動し、倒れている竹や伸びすぎた筍の整備を実施。今年は梅林の梅の実が不作で収穫できず残念



アラゲキクラゲ



### 【次回の活動予定日】

9月 1日(日)	梅林下草刈り
14日(土)、15日(日)	炭焼き(竹炭)
10月 6日(日)	つる集め
20日(日)	つるかご作り&園路整備
11月 3日(日)	梅林整備(下草刈り、枝補強)
17日(日)	ムジナの里草刈り